

住民協働推進事業の選定は

Q 住民協働推進事業の委託先の選定を行う運営委員会は、透明性の担保も考え新たなものにすべきでは。

A ゆめづくり塾の運営委員会での選定を予定しているが、新たな運営委員会の設置も検討したい。

速度制限の看板を

Q 新幹線北側の側道を車が猛スピードで走り、子どもや高齢者が危険。速度制限の看板を取り付けてほしい。

A 危機管理グループには連絡が入っていない。最高速度を表示する看板設置の要望を加古川警察に伝える。

町道浜幹線道路の全線開通は

Q 町道浜幹線道路の平成24年度の工事予定と総延長距離1070m全線開通の予定は。

A 平成24年度の工事は東西両側から同時期に行う。全線開通予定は26年度を予定している。
※23年度は震災の影響で、国からの補助金が減額された。

大池のヘドロ処理方法は

Q 大池整備事業については、しんせつ浚渫したヘドロの固化剤を強アルカリのセメント系から環境に優しいものに変更できないか。

A 県の事業であり、費用対効果を考えると難しいと思われる。

父子手帳の印刷数は

Q 父子手帳は、複数年必要分を印刷し、コスト削減を図るべきでは。また、すでに子育て中の方への配布は。

A 当初予算では、平成24年度に母子手帳と同時配布分の印刷を予定している。必要なら補正予算などで対応したい。

音楽療法士も必要では

Q 心身に障がいのある18歳未満の町内在住者に対し、専門的に訓練や相談を実施しているが音楽療法士の考えは。

A 協力医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士による訓練をしている。検討して音楽療法士も考えたい。

自殺予防啓発を万全に

Q 自殺予防につながる心の健康チェックがパソコンなどで手軽にできる「こころの体温計」を町のホームページに導入しては。

A 自殺予防パンフレット作成や心のチェックリストをティッシュに入れ街頭配布。ホームページについては、他市町の事例も見ながら検討したい。



▲災害対策本部が設置される庁舎

住宅改造をするには

Q 住まいの改良相談員は、本人の生活動作や家の状況から、どんな改造が適切か助言するのか。また、相談窓口は。

A 相談員は助言に基づき審査認定し、相談は作業療法士が現地で行う。住宅の助成を受けるには、介護相談員の相談が必要。窓口は福祉グループである。

住宅リフォーム助成は

Q 住宅リフォーム助成は、負担軽減のため他の制度と併用できるのか。

A 町の他の制度との併用はできないが、いろんなケースが考えられるので、助成を希望される方は一度ご相談ください。

播磨町の水源確保は

Q 播磨町の上水を安定供給するために、水源をどのように確保し、賄っているのか。

A 現在17の井戸でくみ上げている。兵庫県からの上水調達が12%あり、自己水源の確保は88%である。

学校夜間警備の対応は

Q 学校夜間警備委託料が前年と同額だが、多発するガラス破損事件への対応に問題はないのか。

A 広範囲の施設を警備することは予算が多額になるので、学校施設全体でのシミュレーションなどはしていない。

防災無線の管理委託料は

Q 新たに整備した防災無線は、聞こえない、聞き取りにくいとの調査結果があるが、管理委託料の内容は。

A デジタル通信に変更した屋外24カ所の子局や、携帯無線の定期点検を行っている。

震災ガレキの受け入れは

Q 東日本大震災の大量のガレキ受け入れ要請時に、播磨町の受け入れ可能量は。また、決定権者の町長の考えは。

A 施設的には、職員対応で5%、業者対応で35%受け入れが可能。放射能汚染のこともあり、国や県の動向を踏まえ判断する。

鉛給水管の布設替え完了は

Q 今年度は、東本荘や古宮地区で鉛給水管の布設替え工事が実施されるが、現状での整備率と完了の見込みは。

A 鉛管は2650栓程度あり、平成18年から整備に着手。27年度完了を目指し、今年度で60%の整備を行う。



▲播磨南中学校の北にある大池